

ひるがみ

第 73 号

平成30年2月26日

発行

障害者支援施設
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>



忘年会

去る十二月十三日、恒例の阿智温泉療護園利用者忘年会が行われました。

今年の忘年会は利用者さんでもできるだけ参加して頂けるよう考え、司会の一部をひまわり会会長にお任せし、余興も沢山の利用者さんにステージに上

歌ありダンスありの趣向を凝らした出し物でした。

がって頂きました。

第一部の余興は五組、歌ありクイズありダンスあり、毎年のごとながら皆さん趣向を凝らし楽しい出し物が目白押し。芸達者な職員の出し物に、「おもしろかったあ。顔を見るとおかしくって！」と笑いの余韻が次の日まで残っている利用者さんもあるほどでした。

第二部は昼食会。今年には趣向を変えて一般的なクリスマスオードブルにしてみました。一般家庭では馴染みの料理ですが、利用者さん達はあまり口にするのがなく、「初めて食べた」「おいしかった」と言って頂けました。初めての試みで、品数が多い上、利用者さんの食



クリスマスのオードブルは大好評でした。

事の形態に合わせての提供とあり、厨房の方々にも随分考えて頂きましたが、結果は上々でした。パーティー形式で行ったことも新鮮なようでした。クリスマスを兼ねての忘年会であり、園全体がクリスマスモード漂う装飾の中、楽しい余興を見て美味しい物を一杯食べ、今年を締めくくることができました。

(Y・T)

野点

お香が焚かれ、琴の音色やお雛子のCDが流れる中、いつもと違う厳かな雰囲気の中で「野点」が行われました。

最初に飾られた餅花を愛でながら、お饅頭や干菓子、園長の点てるお抹茶を頂きました。美味しいお抹茶に「もっと飲みたい」とリクエストする利用者の方もいたほどでした。お腹が満たされたら今年一年を占う運試



美味しいお抹茶を頂きました。

しのおみくじを順々に引きました。大吉や小吉等と運勢や心がけ『笑う門には福来たる』笑顔で過ごしましょう』『人気急上昇、楽しい一年になりそうです』等おみくじ一つ一つ違う事が書かれており、職員に読んでもらうと弾けんばかりの笑顔が沢山見られました。おみくじは各々居室に持ち帰り大事に飾りました。(M・W)

阿智村駅伝大会

阿智村で毎年十一月下旬開催されている「阿智村駅伝」に職員七名が阿智温泉療護園の代表として参加しました。三十数年振りに出場した去年に引き続き二年連続の出場となります。仕事で忙しい

中、職員が集まって練習を重ねてきました。人数が集まらない時もありましたが各自のペースで励んできました。

当日は快晴でまさに駅伝日和。応援してくれる利用者さんの為に一生懸命走りました。：総合順位は前回より少し上がり四十七チーム中、四十二位でした。あまり高くない順位に對しても利用者さん達は選手を労い、称えて頂きました。また出場する機会があれば、メンバー力を合わせて頑張りたいです。

出場するにあたり御協力頂いた皆様には今一度感謝を申し上げます。有難うございました。(N・Y)




放送レク

放送レクで、私の自己紹介を行いました。当時の写真を三十枚程度用意し、利用者の皆さんに見て頂きました。札幌出身であること、青春時代はテニスを頑張り、ヨーロッパやアジア、アメリカなど海外を転戦したことを話しました。そして、現在の職業でもある看護師を目指した道のりを話しました。私達職員は、利用者さんの家族構成や住まいなどを業



巧みなトークで会場を沸かせました。

務上知っていますが、職員自身の事をゆっくと話す機会はほとんど無く、利用者の皆さんに、自分自身の事を知って頂く、とても良い機会でした。放送レクの後には、利用者さんから、「楽しかったよ」「またやって」など声をかけて頂き嬉しかったです。(S・S)

平成二十九年度 重大ニュース

- ・ 坪庭造園
- ・ 防犯対策のためフェンスの整備
- ・ 電動ベッド六台更新
- ・ プリウス購入
- ・ 福祉車両(軽自動車エヴリ)購入
- ・ 車庫の更新
- ・ 蛍光灯直管をLEDに交換
- ・ 御嶽海関来園

防災対策

当園は昼神地区阿智川沿いに立地しています。最も懸念される災害は大雨と洪水です。地球温暖化の影響でしょうか、一時間に100ミリという想像もできない大雨が日本各地で頻発しています。昨年九州北部で大きな被害が出ました。また岩手では大雨で河川が増水しグループホームを直撃、死者も出ています。川を間近に臨み、



様々な状況を想定し、避難計画を実施。

「土砂災害警戒区域」に立地している当園にとつて他人事ではあり

ません。起きない事を祈りますが、いつ起こっても不思議ではないのもまた事実です。備えあれば憂いなし。只今避難計画を作成中です。今後訓練を重ね、いざ有事の際に役立てる様取り組んでいます。(O・T)

当園での取り組み

園では現在、日課の見直しに伴う業務内容と勤務時間の変更を主に取り組んでいます。

利用者の高齢化、重度化が年々進む事で利用者一人当たりの支援員の介助が増えていきます。夕食の人手不足と排泄介助の負担軽減

法人三施設役員研修会

十一月三十日に下伊那社会福祉会の役員研修会が行われました。講師に気象庁天気相談所所長を務められた土井雅彦氏をお迎えして、「災害をもたらす激しい気象現象に備えて」という演題で講演が行われました。近

年は異常気象が頻発しており、いつ災害が起こるか分からないとの事です。いつでも災害に対応出来るようにしたいといけないと思います。土井氏は在職中に東日本大震災の被害に遭われましたが、職員が一致協力して困

難な状況を乗り越えられたという事です。普段の業務においても、職員間でしっかり連携して仕事を行いたいと思います。

懇親会では法人の評議員・理事・他施設の方々と交流を深める事が出来て有意義な研修になりました。

(Y・S)

に二十時までの勤務を新しく作って試しています。現在の利用者の障害や生活に合わせた支援が続けられるようにその他の勤務も見直しをする予定です。

その他には、腰痛予防にノーリフトケア大作戦を行っています。以前は二人介助で持ち上げる移乗を行って

ましたが、リフト等を用いて、利用者も介助者も安心安全な移乗が

できるように研究しています。(H・K)



ノーリフトケア大作戦発動！！

書初め



一筆入魂!!



療護園では毎年一月二日に書き初めを行っています。その日は書道同好会以外の利用者さん達も自由に参加して頂ける会で、楽しみにしている利用者さんも少なくありません。参加者は皆、お正月や季節にちなんだ文字、または思い入れのある文字を楽しんで書いています。中には大好きな野球チームの勝利を願って書いたり、口ぐせを文字にしてみました。今年はバラエティ

ーに富んだ作品が多く見られました。

その昔、書道だけでなく、茶道、踊り、お琴など、一月二日から始めると上達が早いと言われ、字や絵の上達を願う意味があります。今年も利用者の方々が、健康で元気に過ごせますようにと願い、良いスタート始めの書き初めができたのではないかと思えます。(F・I)

クリスマスケーキ

十二月の暮れ、園よりクリスマスケーキのおやつが振る舞われました。北棟、南棟でそれぞれ一ヶ所に集まりケーキを囲みます。白い雪のような生クリームの上に真っ赤なイチゴが乗ったケーキに厨房職員さんの手作りイ



美味しいケーキを頂きました。

チゴババロア、どちらもとっても美味しそうで利用者さんたちの目が輝き顔はほころびます。早速切り分けられ皆さんの口の中へ。パクパク食べてしまう人、じっくり味わう人、「おかわりー!」とハッスルする人：食べるのに夢中でクリスマスマスの雰囲気忘れてしまいい、最後にクリスマスソングを歌いお開きとなりました。療護園サントからの贈り物を皆さん楽しまれたことでしょう。(M・K)

いつもありがとうございます ございます

今年も
「天理教信南分教会様」
「天理教婦人部様」
「松川町日赤奉仕団様」
「西部地区特定郵便局長会様」
と、多くの皆様に草取りなどの作業奉仕をして頂き、施設周辺が綺麗になりました。
また、利用者さんの支援をするためにタオルが必要となりますが、近隣のホテル旅館に相談したところ湯元ホテル阿智川様より大量の寄贈をして頂き、大変助かりました。
さらに、昨年に引き続き、西部地区特定郵便局長会様より、利用者さんをベッドから車椅子等に移乗する際使用するフレックスボード(ジャバラタイプ)を寄贈して

頂きました。職員腰痛予防に大変役立っています。有難うございました。

現況報告

平成三十年

二月二十五日現在

利用者 四十八名

職員 四十五名

(非常勤職員を含む)



編集後記

今号では当園で力を入れている取り組みについて紹介させていただきました。利用者が安全で快適に生活できる環境を整えていきます。今後とも宜しくお願いいたします。